

(社)精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会

2006 年度総会及び第 9 回例会議事録

日時 2006 年 2 月 24 日 13:30-17:00

場所 東京大学先端科学技術研究センター 4 号館 2F 大講堂

●出席者（敬称略）

○企業会員

河野 功、(株)エリジオン、月野 誠、(株)くいんと、小川雄毅、(株)SAN、亀川正之、(株)島津製作所、伊藤 徹、(株)先端力学シミュレーション研究所、荏原宏光、ソニーグローバルソリューションズ(株)、安東廣曜、市川雄策、千代田アドバンストソリューション(株)、水野道全、中部日本工業(株)、村越厚志、テスコ(株)、丹下浩一、(株)東京精密 計測社、林啓太、(株)トヨタコミュニケーションシステム、岡田貴弘、三和田靖彦、福與 愛、トヨタ自動車(株)、滝 克彦、高塩、千、小林、日本ビジュアルサイエンス(株)、定岡紀行、(株)日立製作所、鈴木誠也、ヤマハ発動機(株)、丸岡浩幸、マテリアライズジャパン(株)、神村直毅、(株)本田技術研究所 (17 社 (全 19 社中))

○個人会員

坂下勝則、徳本真一、和歌山県工業技術センター、大竹 豊、加瀬 究、牧野内昭武、金井 崇、理化学研究所、古川 慈之、寺岡 啓、産業技術総合研究所、圓谷寛夫、(株)ニコン、(代)金子 奨、芝浦工業大学、小林 一也、富山県立大学、増田 宏、松崎幸一、藤森智行、鈴木宏正、東京大学 (15 名 (全 23 名中))

○オブザーバー

後藤秀雄、斉藤寿郎、(株)デンソー (2 名)

●2006 年度総会

配布資料

- 資料 1 議題
- 資料 3 2005 年度活動報告書
- 資料 4 2006 年度活動計画
- 資料 5 2006 年度予算案

議題 1 2005 年度活動報告

以下の点について報告書によって報告が行われ、了承された。

1. 委員会（例会）
2. 技術マップ作成
3. 標準化
4. ホームページ
5. シンポジウム開催

議題 2 2005 年度決算・会計監査報告

事務局より決算結果が報告され、また、定岡会計監事より監査報告がなされ、承認された。

議題3 2006年度活動計画の件

資料に基づき、2006年度の活動計画の説明があり了承された。

- 例会及びセミナーの計画
資料に示した計画が了承された。
- 輪講会
Standard Guide for Computed Tomography (CT) Imaging について継続。さらに他の文献等についても継続して行くこととした。
- 標準化活動
X線CT装置に関して、その主要計測パラメータと測定対象物および画質の関係に関する基礎的な検討を進める。WGを作成して活動を進めたい旨の説明があった。
- 技術マップ
技術マップをベースに研究課題抽出及び産学連携を進めていくこととした。
- ホームページ
現在のホームページを充実させ、特に計測データ・ソフトウェアの共有を進めることとした。
- 公開セミナー
今年度末頃に計画を行うこととした。

議題4 2006年度予算案の件

以上の活動案をベースとした予算案が了承された。なお、学会からオーバーヘッドの徴収がある場合は、それを修正することにした。

●第9回例会議事録

配布資料

- 資料2 前回例会議事録
- 生産現場 (Shop floor) での計測 フレキシブルゲージの提案
- リバースエンジニアリングソフト MOSAIC の概要

議題1 新委員紹介

下記新規に参加された委員の自己紹介があった。

- 個人会員 圓谷寛夫 (株ニコン 産業第一設計課)

議題2 話題提供

下記2件の話題提供が行われた。

1. 生産現場 (Shop floor) での計測 フレキシブルゲージの提案 丹下浩一 (株東京精密 計測社)
2. リバースエンジニアリングソフト Mosaic の概要 松崎幸一 (東京大学)

(以上)